



4月 ちとせだより

幼保連携型認定こども園
神戸YMCAちとせ幼稚園

新しい年度を迎えて、新入園児にとっては、まだまだ不安な気持ちを抱いて過ごしていることでしょう。進級児にとっては少しお兄さん、お姉さんになった気持ちを感じているのかもしれませんが。いずれにせよ、4月というこの時期は、様々な環境が変わり、様々な感情を抱く時期です。そういった時期だからこそ、今抱えている感情を素直に出しながら、ひとりひとりにあったペースでゆっくりと新年度を歩いていって欲しいと思っています。私たち職員一同も新たな体制の中、新たな気持ちで2022年度の保育を始めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

キリスト教保育連盟は、2022年度の年主題を『つながって』～今、わたしを生きる～と決めました。2年前からコロナ禍を過ごすこととなり、当たり前だったことが、当たり前でなくなってしまうしました。SNSやオンライン会議など間接的なつながりが主流となり、顔と顔を合わせて語り合ったり、喜びや楽しみを共有するような直接的なつながりが絶たれているように感じる今だからこそ、与えられた年主題のように思います。幼児期を過ごす子どもたちにとっては、このようなアナログなつながりがとても大切です。幼稚園での生活は、たくさんのお友だちや先生との出会いや交わり、そしてつながりがある日々を過ごします。直接的だからこそ、自分の思いを人に伝えたり、お友だちの思いを聞いたり、考えたりする場面がたくさんあります。そのような経験こそが、自分の実体験として積み重なり、自分自身を大切に、そしてお友だちと過ごすことの喜びや楽しみも見出していくことと信じています。また、年主題には、副題として、「今、わたしを生きる」という言葉も与えられています。大人は、子どもたちが困ったり、失敗したり、つまづかないように先を見据えて、課題や指示を与えがちになりますが、先のことを考えて準備するのではなく、今をしっかりと生きて欲しいというメッセージのような気がします。子どもたちに与えられたこの1年を子どもたち自身の足で力強く歩いていけるよう、お友だち、保護者の皆様、先生、そして神様とつながって、豊かに毎日が過ごせることを祈っています。

【年主題】

『つながって』～今、わたしを生きる～

【年主題聖句】

主がすべての災いを遠ざけてあなたを見守り
あなたの魂を見守ってくださるように。あなたの出で立つのも帰るのも
主が見守ってくださるように。今も、そしてとこしえに。

(詩編121編7～8節)

4月主題 「であう」

聖句 「わたしの助けは来る 天地を造られた主のもとから」

(詩編121編1～2節)